

Point

J R 東海 大阪修繕車両所分会分会情報
No. 63 2010. 08. 17.
発行責任者 坂東 貞男
編集責任者 教 宣 部

のぞみ155A 14号車配電盤火災について 解明要求を上申

夏季輸送中の8月9日、岐阜羽島～米原間を走行中の「のぞみ155A」の14号車配電盤から煙が発生しているのを車内販売員が発見し、非常ブザーを扱い、「のぞみ155A」は緊急停止する事態が発生した。

マスコミ報道によると、乗客は、「爆発音がした」「ドーンと言う音を聞いた。」「客室に煙が入ってきた。」等々事故の状況が報道され、乗客はハンカチ等で口元を押さえ他の車両に移動をしたと報道しています。

その他の詳しいことは、分かりませんが、乗客にけが人が出なかったのは不幸中の幸いでした。

しかし、今回の事象は、配電盤から煙が発生し、乗客がハンカチ等で口元を押さえ他の車両に移動していることから、乗客がパニックに陥ることも考えられ、一歩間違えれば大惨事になってもおかしくない状況であったようです。

私たち大阪修繕車両所分会は、会社に対して事故の原因の解明、再発防止の対策を求めるために、新幹線関西地本に解明要求を上申しました。

J R 東海 新幹線関西地本
執行委員長 小林 國博殿

2010年8月16日

大阪修繕車両所分会
分会長 坂東 貞男

「のぞみ155A」14号車配電盤火災に関する申し入れ

8月9日、岐阜羽島～米原間走行中の「のぞみ155A」の14号車配電盤で、火災があり、緊急停止した。「のぞみ155A」は車両点検をした後、運転を再開し、米原駅で運転を打ち切り、大阪仕業検査車両所に回送された。
お客様に怪我をされた方はいなかったのは、不幸中の幸いであったが、一歩間違えれば大惨事になっていたことは否めない。

下記の点について会社と早急に協議されたい。

記

1. 14号車配電盤の火災の事象について詳細を明らかにされたい。
また、事故発生による対処（車両所社員の出勤を含む）について明らかにされたい。
2. 14号車配電盤の火災の原因を明らかにされたい。
3. 当該編成の検査履歴を明らかにされたい。
また、当該編成の14号車配電盤の修繕等の履歴を明らかにされたい。
4. 今回の事象はCPNが溶損している。この間、会社はCPNのNFBを車両品質向上のため、あるいは、信頼性向上のためとして、NFBの改修を行ってきた。このNFBは、対策後のNFBなのか明らかにされたい。
また、対策後のNFBは、25Aから30Aに容量を上げているが、この容量を上げたことが火災に何らかの影響を与えたのではないか見解を明らかにされたい。
5. 事故発生以降、各職場において配電盤内の端子、接点、互りバー等の一斉点検を行っているが、なぜ、これらの部分の一斉点検を行ったのか明らかにされたい。
6. 一斉点検を指示した際に社員に対してどのような場合を不良・不具合かを説明したのか明らかにされたい。また、この一斉点検の結果を明らかにされたい。
7. 今回、当該車両を大阪仕業検査車両所に取り込むにあたり、仕業検査車両所の検修当直は、修繕車両所の社員に対して、併合作業が遅れてもよいので、先に臨修庫の車両を庫出しせよと作業指示している。会社は、常日頃から併合作業を遅らせるなど言っておきながら、いくら異常時と言えど、明らかに異常な作業指示である。会社の見解を明らかにされたい。
8. 再発防止のための対策を明らかにされたい。